

令和4年度 第8回入退院時情報共有・連携ルール作業部会議事録

日時：令和4年11月17日(木)

午後3時15分～午後4時15分

場所：社会福社会館 3階会議室

安城市看取り体制の目指す姿

「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」

1. フロー修正案確認

- ・病院部会から病院の役割についての文章案説明。

八千代病院より文章提出あり。病院部会担当者にて意見交換し、八千代病院案で採用。文章の変更がある方は事務局まで連絡のこと。

- ・薬剤師会より追加内容について（資料1、2）

資料1、2の説明を薬剤師会代表より説明。資料2は薬剤情報の照会の際に病院薬剤師からかかりつけ薬局に送信するもの。安城更生病院にて心不全患者に使用している。日本病院薬剤師会のフォーマットなので使用は可能。薬剤師会にて周知を頂く予定。病院の部分にも追加する。

- ・近隣市の包括支援センターの状況について（資料3、参考資料）

近隣市も統一様式で必要性に応じて入院時に情報提供する対応をしているが、入院したことを知らない包括担当者も多いのが現状であると。包括ネットでも統一が難しい状況もあるので、安城市としては包括職員の判断に応じて口頭、紙面などによる情報提供とする。

2. 現在使用している様式及び検討課題について意見交換（続き）資料4

①入院時書類

入院時情報提供書（居宅）・訪問看護サマリー・入院時情報提供書（薬剤）

- ・訪問看護ネットワーク部会より訪問看護指示書の期限については、入院の時点で状態変化が起こっているため、必要性に応じて指示書の依頼をしたいと思う。入院時の情報提供項目には不要ではないかとの意見が出た。→不要との方針で承認。

②退院時書類

介護支援等連携指導料、退院時共同指導料2、診療情報提供書（居宅用）、退院サマリー（看護、リハ）、退院・退所情報記録書、退院時情報提供書（薬剤）

- ・訪問看護ネットワーク部会より、病状・屯用役の管理・退院指導における継続課題

アレルギー薬の記載・退院時の IC 内容と患者、家族の理解度については情報を頂きたい。

- ・病院毎に形式が異なるので同じように記載することは難しい。現在の使用している様式で追加してほしい内容を作業部会から依頼していく対応ではだめか？
- ・看護サマリーと薬剤情報提供書は別のフォーマットになっているので、看護サマリーに薬剤情報は書かれていない。
- ・病院薬剤師が看護サマリーに薬剤情報を記載することはあるのか？→ない。
- ・各病院で可能な内容を確認いただく。

3. 手引書の内容検討

進捗管理シートを見て各グループで3月までの計画を立てて頂く。4グループに分かれて検討。

4. 事務連絡

本日の意見を踏まえ、各部会で実現可能な具体策を検討し、12月の作業部会までに発表頂く。

12月も様式、手引書の検討を行う。

次回開催日 令和4年12月15日(木)午後3時15分～社会福祉会館3階会議室